

【二期募集】平成30年度「日本赤十字社国際救援・開発協力要員  
育成のためのオンライン英語研修」実施要綱

※一期募集に赤字で追記

1. 目的

将来、日本赤十字社の国際救援・開発協力要員を目指す職員のうち、英語学習を進める中で、時間的制約や費用面から継続的に英語学習に取り組むことが困難と感じる者が少なくない現状がある。そこで、受講生一人ひとりに合ったプログラムがカスタマイズされるオンライン英語学習システムを導入することで、効率的な学習方法を提案し、受講生の英語の基礎力・総合力の向上を図ると同時に、全国の赤十字施設に潜在する人材の発掘と、各施設の人材育成の支援を行う。

2. 目標

- 1) 受講生は本研修で身につけた英語力を派遣前必須研修等で発揮し、実際に国際活動の現場で円滑に業務を遂行できることを目指す。
- 2) 研修の基本指標として TOEIC を使用することとし、受講生は研修修了までに TOEIC スコア 730 点以上の取得を目指す。

3. 実施施設

名古屋第二赤十字病院

4. 研修概要

- 1) オンライン英語研修 (3 ヶ月)

<http://www.berlitz-sd.jp/menu/language/cyberteacher.html>

前	① 研修前レベルチェックテストを受講
研修中	② ①の結果を受け、受講者に合わせてカスタマイズされたプログラムで英語をインプット (1日15分~20分から学習可能)
	③ 毎日 (月~金曜) メールで送られてくる新しいレッスンで、隙間時間を使って文法や慣用表現を学ぶ (5分~10分)
	④ 関心のある分野のニュース記事や動画を使って学習を進める
後	⑤ 研修後レベルチェックテストを受講

※受講者のテスト結果、学習時間数、進行状況のモニタリングは名古屋第二赤十字病院及び本社国際部担当者が実施する。

※英語に関する質問はオンラインシステム内でネイティブ教師へ質問可。

- 2) TOEIC Listening & Reading (以下、L&R) テストを個別受験

5. スケジュール

- 1) 全4グループそれぞれ該当月の1日より開始し、3ヶ月の在籍期間に実施  
第1グループ：2018年12月1日(土)~2019年2月28日(水)  
第2グループ：2019年1月1日(火)~2019年3月31日(日)  
第3グループ：2019年2月1日(金)~2019年4月30日(火)  
第4グループ：2019年3月1日(金)~2019年5月31日(金)

- 2) 研修終了日より3ヶ月以内に TOEIC L&R テストを受講

※公開テスト、IPテスト (団体特別受験制度) どちらも可

※参考：公開テスト日程

<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide01/schedule.html>

## 6. 対象者

- 1) 赤十字施設職員のうち、将来国際救援・開発協力要員を目指す者（職種・経験年数不問）
  - 2) ①第一優先：英語レベル「TOEIC L&R 500 点以上 600 点未満」の者  
②第二優先：英語レベル「TOEIC L&R 730 点未満」の者  
③第三優先：英語テストの受講経験は無いが 1) に該当する者
- ※TOEIC 成績証明書の提出が望ましいが、過去に受講した類似テストの提出も可とする。対応レベルについては「別紙：換算目安表」を参照のこと。  
※証明書を紛失した者は英語レベルを自己申告とする。

## 7. 定員

100 名（全 4 グループ合計）

## 8. 費用負担

- 1) 受講料：国際医療救援事業交付金より充当（受講者自己負担なし）
  - 2) 研修後 TOEIC 受験料：受講生自己負担
- ※パソコン及びインターネット環境は各自で整えること  
※必要なシステム環境
- [http://www.berlitz.co.jp/language/mbl\\_pop\\_system.html](http://www.berlitz.co.jp/language/mbl_pop_system.html)

## 9. 学習成果の評価

- 1) オンライン英語研修受講前後にレベルチェックを実施する。
- 2) 研修終了後 3 ヶ月以内に「TOEIC L&R」を各自で受験し、成績証明書の写しを研修実施施設宛て送付する。

## 10. 申込方法

以下 4 点、**2018 年 12 月 16 日（日）** ~~2018 年 11 月 18 日（日）~~までに所属施設を通じて名古屋第二赤十字病院国際医療救援部宛、送付すること。

- 1) 別紙様式 1：参加申込書
- 2) 別紙様式 2：アカウント発行用
- 3) 英語レベル証明書（6. 対象者 2）※印を参照のこと。）
- 4) 英語レベル自己申告書（3）を紛失した者に限る。）

応募者多数の場合には 6. 2) の優先度の高い層から受講資格を与える。  
なお、参加の可否については、申込者全員について 12 月中に通知する。

- 可：担当業者よりアカウント登録完了メールが届く  
否：研修実施施設より連絡

## 11. 個人情報の取得及び利用

当該研修における受講者の個人情報の取得及び利用は、研修の円滑な運営（委託業者によるサービスの提供を含む）と研修効果の最大化を目的とし、その目的の達成に必要な範囲内で行います。なお、個人情報の取得にあたっては、参加申込書の提出により本人の同意を得たものとします。

### 【申込み／問い合わせ先】

名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部  
電話番号：052-832-5467 FAX：052-832-6256  
Email：kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp

名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部 あて

支部・施設名： \_\_\_\_\_  
本件ご担当者部署・職・氏名： \_\_\_\_\_  
E-mail： \_\_\_\_\_

**【二期募集】**平成30年度「日本赤十字社国際救援・開発協力要員  
育成のためのオンライン英語研修」参加申込書

私は、研修申込みに際し、下記の事項を承諾し遵守することを誓約したうえで、標記研修への参加を申込みます。

記

1. 本研修を業務として認識し、プロフェッショナルな態度で参加すること。
2. 本研修の目的をよく理解したうえで所定の研修プログラムを誠実に学修し、研修の目的を達成すること。
3. 日本赤十字社の国際救援・開発協力事業において、本研修の成果を積極的に活用していくこと。
4. 特別な理由なく一定期間（1週間以上）オンラインプログラムへのアクセスがない場合は、受講状況モニタリング担当者より警告を受け、それでも改善がなければ本研修の参加資格を喪失する可能性があることを承諾すること。

平成30年 月 日

実施希望グループ（該当グループひとつに)

- 第1グループ：2018年12月1日（土）～2019年2月28日（水）  
 第2グループ：2019年1月1日（火）～2019年3月31日（日）  
 第3グループ：2019年2月1日（金）～2019年4月30日（火）  
 第4グループ：2019年3月1日（金）～2019年5月31日（金）

申込者職・氏名 \_\_\_\_\_

No.	漢字名	姓 (※半角ローマ字)	名 (※半角ローマ字)	E-MAIL
例	山田 太郎	Yamada	Taro	<a href="mailto:taroyama@xxx.co.jp">taroyama@xxx.co.jp</a>
受講生 1				
受講生 2				
受講生 3				

# 英語レベル自己申告書

平成 30 年 月 日

名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部 あて  
下記のとおり、申告します。

該当する欄に○印と点数及びテストを受験した時期を記入ください。

テスト	○	点数	受験時期 ( 年 月頃)
TOEIC (L&R)			
TOEIC (S&W)			
TOEFL iBT			
TOEFL ITP			
英検			
IELTS			
その他 ( )			

申込者所属・職氏名

		レベル		IELTS	TOEFL IBT	TOEFL ITP	TOEIC	英検	CEFR
Expert User	英語を十分に自在に操ることができる。表現を完全に理解し適切・正確・流暢に使うことができる。			9	120(満点)	673 - 677(満点)			C2
				8.5	119	667 - 672			
Very Good User	英語を十分に操ることができるが、散発的に不正確・不適切な表現がある。馴染みのない領域では誤解も散見されるが複雑で細かい議論もよくこなせる。			8	117 - 118	660 - 666			C1
				7.5	109 - 116	630 - 659	970 - 990		
				7	100 - 108	600 - 629	870 - 965	1級	
Good User	英語を操ることができるが、時々不正確・不適切な表現がある。状況によっては誤解があるものの、複雑な表現も概ね使いこなすことができ、細かい筋道も理解できる。		大学院正規留学 レベル	6.5	90 - 99	577 - 599	820 - 865	↑	
				6	80 - 89	550 - 576	740 - 815	準1級	
Competent User	概ね通用する程度に英語を操ることができるが不正確・不適切・誤解がある。馴染みのある領域に限っては複雑な表現を理解し使うこともできる。		大学正規留学 レベル 短大・専門学校 正規留学レベル	5.5	69 - 79	521 - 549	600 - 735	↑	B2
				5	61 - 68	500 - 520	550 - 595	2級	
Modest User	限定的に英語を使うことができるが、ほとんどの場合大体的意味をくみ取ることができる程度で、ミスが散見される。馴染みのある領域に限っては基本的なコミュニケーションがとれる。			4.5	52 - 60	470 - 499	500 - 545	↑	B1
				4	45 - 51	450 - 469	450 - 495	準2級	
Limited User	馴染みのある領域に限って基本的な英語を使うことができる。馴染みのない領域では、理解することも自らを表現することも難しい。複雑な言葉や表現を使うことができない。			3.5	33 - 44	400 - 449	300 - 445	↑	A2
				3	29 - 32	391 ~ 399	290 - 295	3級	
Extremely Limited User	非常に馴染みのある領域では内容を理解することができるとは伝えることは難しい。コミュニケーションが頻繁に途絶える。			2.5	20 ~ 28	381 - 390	270 - 285	↑	
				2	9 - 19	350 - 380	260 - 265	4級	
Intermittent User	確実なコミュニケーションを行うことは不可能。単語の羅列や短い定型句でしか伝えられない。会話や文章の理解には非常に苦勞する。			2	9 - 19	350 - 380	260 - 265	4級	A1
Non User	いくつかの単語を羅列して用いることしかできず基本的に英語を使用する能力を有していない。			1.5	0 - 8	310 - 349	100 - 255	5級	